平成　29年　2月　9日

利用者各位
　平素は、当事業所の運営にご協力いただきましてありがとうございます。

　昨年、東京都の指示により行った「放課後等デイサービスを行っている都内全事業所の支援の質の向上を図るための評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。
　保護者の方からのご意見を集計したものと、る一むからの回答をまとめましたので送付させていただきます。ご覧ください。

あかしろきいろ発達支援る一むⅡ
施設長　田中義也

保護者等アンケート調査　集計結果

		質問項目	はい	どちらともいえない	いいえ	保護者の方からのご意見	る一むから保護者の方へ
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	0	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	3	1		活動の内容や利用されている方の状況から考えると現状は適切だと思います。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1 が作成されているか	9	1	0		個別支援計画は半年ごとにモニタリングの上見直し、作成しています。
	⑤	活動プログラム*2 が固定化しないよう工夫されているか	10	0	0	・毎回、素敵な作品を持って帰ってくるので楽しみです。	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	4	・利用している内容がそのような機会を必要とするものではないため。 ・あまり必要性はないと思う。 ・普通級に通う子が前提の施設だと思うので、交流は日中充分している。	普段、交流がある子どもたちが利用しているので特に必要はないと考えています。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	0	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1	0		面談や相談には常に対応させていただいております。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	6	0	・保護者会と呼ぶのもはないが、うちの子が通っているクラスは親子同伴なので子どもが活動している間に交流している。	29年2月4日にお父さんのための勉強会及び交流会を開催しました。（未就学児対象）今後も定期的ではなく、必要に応じて随時行っていきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	3	0	・そのような場面にあまり遭遇しない。	今のところ苦情はありませんが、あった場合は適切に対応します。 また、契約の際にも説明させていただきましたが、当施設以外に区市町村の相談・苦情窓口「大田区　こども家庭部　子育て支援課」や、東京都福祉協議会に設置された「福祉サービス運営適正委員会」でも受け付けていることを説明書にも明記しております。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	0	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	3	0		以前、URLを配らせていただきました。定期的に更新していきますのでご覧ください。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	10	0	0		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	1	0		新たに策定した緊急時防犯マニュアルは、今後周知させていただきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	0	0	・避難先までのルートを皆で歩けたので良かった。	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	10	0	0		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	10	0	0		

*1　放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2　事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。